

インターネットを活用した学級会はじまる

「緊急事態宣言」が発出され、2年生にとっては3月から、1年生にとっては入学式以来、一斉臨時休業が続いています。そのような中、本校では保護者の皆さまと一体となって、子どもたちの家庭学習を応援しています。

新学期がはじまってまず、教材の定期的な配信を始めました。その後、動画の配信も行い、毎週末にその成果を保護者から本校に送信していただいています。そして、4月22日(水)には2年生と、4月23日(木)には1年生とのインターネットを活用した学級会の試行を行いました。名付けて「Zoom学級会」。

1つの組を4つのグループに分け、1グループ9人の子どもたちと担任とがおよそ20分程度、モニターで顔を見ながらコミュニケーションする機会としました。日ごろからインターネットを使い慣れているご家庭ばかりですので、学級会も定刻にスムーズに始まりまず。2年生は懐かしい？友たちや先生と、毎日の様子を楽しく話し合っていました。また、1年生も、物怖じすることなく、先生との応答をしているのは、さすがでした。

最初のグループが終わると、すぐに次のグループとつなぎます。こうやって、午前中に1つの組、午後には別の組と進めていきました。はじめての試みですので、教員もやや緊張しましたが、何より、子どもたちの顔を見ることができた喜びは大きいものです。本校のそれぞれの子どもたちも、学校のことを思い出してくれたでしょうか。

このインターネットを介した学級会については、引き続き来週も試行し、よりよい運営としていきたいと思っています。教職員も在宅勤務のため、動画を含めた教材作成やインターネットを介した学級会など、まだまだうまくいかないところもあります。しかし、このような機会でなければ、このような新しい教育の方法について、考えることもなかったでしょう。[未知なる新しい世界に挑む気骨と主体性をもち、本気になって取り組み、科学的・実践的に学ぶ人間を育てる]、これが本校の教育理念「冒険心の育成」ですが、私たち教員も、冒険心をもって新しい教育の方法を学んでいこうと考えています。

なお、教材や動画の定期的な配信、さらに、インターネットを介した学級会「Zoom学級会トライアル」は、全国の小学校の中でもまだ珍しく、また、学校法人東京農業大学の中でも新しい試みです。これからも適切な運用に努めてまいります。

季節を味わおう

「Zoom 学級会トライアル」では、子どもたちが取り組んでいることを話してもらいましたが、アサガオ、ヒマワリ、エダマメと、種まきをして育てている子どもたちもいました。それを聞くと、一斉臨時休業でなければ、本校の畑でいっしょにトマトやナスを育てていたのに、横浜市田奈の田んぼで田植えをしたのに、と残念な気持ちもわいてきました。しかし、家庭で過ごす毎日は、自宅や近所の生き物をじっくり観察するには良い機会です。桜の花が散ったあとはどうなっているのでしょうか。小さな実がついていることもありますよ。アリも活発に動き回っています。ツバメはいつになったらやって来るかな？ 食卓の野菜や果物の名前は言えるかな？ それぞれの子どもが、何かを”発見“したり、”研究“したりできることを期待しています。

南極教室

4月16日(木)、情報・システム研究機構 国立極地研究所から本校にうれしいお知らせがきました。それは「南極教室」を本校で実施することが決定したという通知です。9月になると、本校の子どもたちと南極に派遣されている第61次極探観測隊の隊員さんをつなぐ衛星中継が行われるのです。

この「南極教室」は観測隊の活動期間中に、主に隊員にゆかりのある場所と昭和基地を中継で結び、南極観測の現在を知る機会として設定されています。東京農業大学の卒業生で、第61次極探観測隊員として派遣された田留健介さんと校長とのご縁で、実施の運びとなったものです。南極大陸について、たくさん勉強したり、隊員の皆さんにたくさん質問したりする素晴らしい機会です。田留さんが南極に向けて出発前に、昨年12月16日に本校を訪問された時の様子もご覧ください。9月の南極教室、楽しみにしててくださいね。

校長 夏秋 啓子